

令和二年度

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

小規模多機能ホームおあしす国分



◆事業所自己評価

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

令和3年3月18日

小規模多機能ホームおあしす国分

霧島市国分福島三丁目61番3号

電話 0995(48)5262

FAX 0995(48)5263

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	15人	1人	0人	16人

前回の改善計画
○初期支援における利用者や家族の心情を支援するスタッフが把握出来ているのか確認する仕組みを作る。また、計画作成担当や看護師、介護職員が知り得た情報を速やかに事業所内で共有することが出来るようミーティング等の方法や本人や家族から優先して聞き取りたい情報の明確化するなどの方法を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
○初期段階における情報収集は概ね出来ており、職員間での情報共有などの図る事もできたが職員1人1人の把握の程度に差があり初期のサービス提供に関してケアに迷う様子も見受けられた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	13	2	0	16
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	15	1	0	16
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	15	0	0	16
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	14	2	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○ケアマネージャーを中心としてミーティング等を活用し情報共有を行うことが出来た。また、1人1人の職員が個々で情報収集を行い、意見を集約することで初期段階における適切なサービス提供に繋げることが出来た。

できていない点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○初期段階ということもあり、情報収集を行うものの細部まで情報を把握することは困難であり、職員間でその方に対する情報把握の差が出ていた。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○初期段階における事前情報収集は本人、家族を基本としかかりつけの病院、近隣住民などからも情報を得られるよう各職員が意識して情報収集にあたる。また、職員間で知り得た情報の共有を行うことで統一したケアを提供出来るようミーティングなどを活用して利用者に適切なケアを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1人	11人	4人	0人	16人

前回の改善計画
 ○認知症ケアのスキルアップを図る事ができるよう認知症関連の研修予定などの情報を収集しスタッフへ研修に参加していただく。また、計画作成担当を中心として利用者の状態変化を事業所内で共有し利用者の状態と計画書の内容にズレが生じた時にはプランを変更して適切な支援が利用者一人一人に提供できるよう職員間の連携を図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ○ケアプランに沿ったサービス提供を適切に行う事が出来た。また、本人や家族からの訴えを聴きニーズに応じたサービスの変更を柔軟に行なうことができた。また、認知症ケアに関する研修にも職員が参加し知り得た情報を部内研修として全員で共有することも出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	1	11	4	0	16
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	13	2	0	16
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	11	4	0	16
④	実践した(かかった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	10	5	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ○ケアプランを確認しながらニーズに沿ったサービス提供が出来た。本人のニーズなどに関してはカンファレンス時にスタッフ間で検討を行いプランに反映することが出来た。
 ○認知症ケア研修にスタッフが参加した。知り得た情報は事業所内で共有できた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ○本人のニーズと家族等のニーズに差があることから本人のニーズを十分にくみ取ったサービスを提供することに苦慮した。
 ○新型コロナウイルスの影響により研修の機会は少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ○本人の「～したい」等の訴えを見逃さずその利用者だけに合ったプランを作成する事でニーズに合った適切なサービス提供が出来るよう本人とのコミュニケーションや家族、地域からの情報収集等を行う。
 ○認知症関連の研修開催情報を確認し職員が認知症に関してスキルアップを行うことが出来るよう努める。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	9人	7人	0人	16人

前回の改善計画

○利用者において知っておきたい事等はある程度決めておき(10程度)各担当スタッフが責任をもって情報収集を行う体制作りを行う。写真等の情報提供等も本人やご家族様の理解、協力を得られれば引き続き情報収集の一環として取り組んでいく。

前回の改善計画に対する取組み結果

○概ね本人やご家族様などの協力により以前の生活についての情報を収集することは出来たが、独居の利用者などに関しては過去の情報に関して情報収集が乏しい面も認められた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	2	12	1	16
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	12	1	0	16
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	12	2	0	16
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	12	1	0	16
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	12	1	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○日々の利用者との関わりの中で以前の暮らしや本人の普段の様子などを少しづつ把握しながら適切なサービスを提供することが出来た。また、普段の関わりから、体調の変化などに関しても普段との様子の変化から異常を確認し病院受診に繋げるなど臨機応変に対応出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○対象の利用者について以前の暮らしを事業所の職員は十分には把握出来ていなかった。職員は意識して以前の暮らし方についての情報収集を行い、その過去の情報をヒントに現在のサービスに反映出来るような努力が必要であった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○引き続き利用者の以前の暮らしを普段の会話などの中から10程度を目標とし情報収集を行うこととしその方の現在やこれからの生活をサポートすることの出来る計画を作るなどしその方の人生に寄り添った支援内容を構築する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	14人	0人	16人

前回の改善計画

○事業所を利用していない時の生活について、その方がどのような暮らしをしているのか情報収集を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

○利用者本人からの聞き取りや家族、近所との関わりに関してはケアマネージャーや担当の職員が情報がある程度把握することが出来ていたが、24時間を通しその人がどのような生活を過ごされているかを十分に把握することは出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	6	10	0	16
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	8	0	16
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	8	1	16
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	2	11	3	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○職員間での情報共有は随時行いその方のライフスタイルなどに努めることが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○情報聞き取りの主は本人であり、本人が地域でどのような生活を過ごし、どのような人との繋がりがあのかを十分に把握した状態での支援は提供出来ていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○利用者のライフスタイルについて意識して利用時以外の生活について情報収集を行う。また、その情報の中から必要と思われる支援を発見し本人が地域での生活を継続して過ごすことが出来るよう協力を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	5人	9人	2人	16人

前回の改善計画
○利用者の生活圏域にはどのような地域資源があるのか各担当職員は責任をもって調べ。利用者が住み慣れた環境で生活を続けられるよう地域資源の活用を検討する。

前回の改善計画に対する取組み結果
○利用者本人がこれまで利用していた医療機関や商店、理髪店などの利用ニーズにはある程度応えることが出来ていた。また、事業所のサービスを継続して頂きながら住み慣れた地域での生活を続けられるよう日々のサービス提供に職員全員で取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0	8	6	2	16
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	13	0	1	16
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	14	0	1	16
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	14	0	1	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○本人、家族等のニーズに柔軟に対応し事業所の「通い」「訪問」「宿泊」サービスを利用して頂いた。
○本人の体調等いつもとは違う変化にいち早く気付くことが出来た。
○地域の馴染みのある店などと本人とを繋げる手伝いが出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○本人が生活する圏域の地域資源を十分に把握することが出来なかった。
○新型コロナウイルスの影響により積極的な地域での活動は出来なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○利用者本人が今後も住み慣れた自宅で生活を続けていくことが出来るよう事業所のサービスを有効に活用して頂けるようニーズの確認等を随時行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	7人	6人	3人	16人

前回の改善計画

○主治医、医療機関との連携は今後も綿密に行っていく。また、地域の各種機関・団体への活動に関しては出来るだけ事業所のスタッフが参加できるよう勤務体制を考慮するなど活動参加への積極的参加に取り組む。

前回の改善計画に対する取組み結果

○利用者の主治医との連携はケアマネージャーを通し適宜行うことが出来たがライフサポートワーカーの活動を始め各種の団体への活動は新型コロナウイルスの影響により、中止などが相次いだことから消極的な活動となった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	3	6	7	16
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	13	16
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	0	2	4	10	16
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	2	3	11	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○医療機関や利用者が利用するサービスの担当者との連携は適切に行なうことが出来た。自治体や地域包括支援センターなどの連携はパソコンを利用したりリモート会議やメールなどによる情報提供を行った。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○新型コロナウイルスによる活動自粛等により地域資源との連携を積極的に行えなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○地域の状況を考慮しながら、各種機関や団体との連携を図り事業所自体も地域の資源の一部として関わりを持つことが出来るよう最新の情報を仕入れて活動に取り組む。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

7. 運営

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	4人	16人

前回の改善計画
○ライフサポートワーカーとしての取組方だけでなく、事業所が地域に必要な場所となるために、利用者、家族、地域との関わりを積極的にもちご意見を頂きながら小さな事柄でも何か事業所としてできる事はないだろうか検討していく。

前回の改善計画に対する取組み結果
○新型コロナウイルスの影響による地域との繋がりに関しては昨年と比較しても積極的な繋がりを持つ事は出来なかった。事業所としての利用者やご家族様が安心して事業所を利用して頂ける環境づくりに関しては苦情などを反映しながら適切な事業運営に取り組むことが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	9	5	1	16
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	10	4	0	16
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	6	2	16
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	2	8	6	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
○苦情を反映し迅速にその利用者に対するケアの修正を行うことが出来た。また、本人だけではなくご家族様等とも意見交換を適宜行う事が出来た。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
○新型コロナウイルスの影響により地域で行われるイベントなどに関してはそのイベントの中止などにより積極的に取り組むことは出来なかった。
○地域からの意見を聴く機会が少なかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
○事業所が適切に運営できるよう本人だけではなく家族や地域からの意見を聴く事の出来る機会を検討する。
○苦情に関しては引き続き迅速に適切な対応を行なう。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	5人	0人	16人

前回の改善計画

○外部研修や部内研修になるべく多く参加することが出来るようスタッフの勤務の調整など計画的に行っていく。また、部内研修においては外部より講師を招きより専門性の高い研修を行うなど事業所としての質の向上に努めていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

○外部研修は新型コロナウイルスの影響による中止等によりその開催自体が少なかったものの開催された研修に関してはリモート会議などを駆使しながら参加することが出来た。
○部内研修に関しても毎月のテーマを計画し資料を元に実施したが外部より講師を招く等は出来なかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	8	0	0	16
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	6	7	1	16
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	3	11	16
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	11	3	2	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○外部研修や内部研修に計画的に取り組むことが出来た。
○介護支援専門員や介護福祉士などの取得に対し自主的に勉強を行う職員もいた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○外部研修は年間計画を立てて実施したが、新型コロナウイルスの影響により研修の実施自体が少なく研修にあまり参加出来なかった。
○自治会の集まりなどは開催されなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○事業所の職員が学びたいテーマに沿った研修に参加することが出来るよう計画を立てる。また、学んだ内容に関しては事業所内で発表できる時間を作り職員全員の知識の向上を図る。
○地域連絡会の開催に関しては積極的に参加を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和2年12月22日(18:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 16人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	12人	2人	0人	16人

前回の改善計画

○スタッフには引き続き利用者との会話においては敬語を基本とし対応していただく。また、馴れ馴れしい会話などが介護事業所の現場内で聞かれた場合は自分の言動や行動が適切であったか一度立ち止まり確認して頂くよう管理者、またはスタッフ間で注意していく。

○外部研修や部内研修で成年後見制度についての学習会を行う。

前回の改善計画に対する取組み結果

○利用者への会話だけではなく職員間の会話においても敬語を基本としてお互いが不快になるような言葉使いに注意することが出来た。

○部内研修等を活用し言葉使いやプライバシーに関して学習を行う事が出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	13	3	0	0	16
②	虐待は行われていない	13	3	0	0	16
③	プライバシーが守られている	13	2	0	0	16
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	2	8	16
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	8	0	0	16

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

○普段から敬語を意識し接遇を行っている。

○事業所内で身体拘束は行われていない。

○プライバシーや個人情報に関して適切な管理を行うよう部内研修を行っている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

○職員同士の会話などでつい馴れ馴れしい言葉で会話をしてしまうことがある。

○成年後見制度を利用している方がいない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

○基本とする敬語での言葉づかいは今後も徹底し行ない、不適切な言葉使いはお互いが注意し合える関係作りに努める。

○成年後見制度についての学習を計画立てて行い知識の向上を図る。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社メディコープ	代表者	代表取締役 中道 浩二	法人・事業所の特徴	利用者様ができるだけこれまでの生活を続け、その人らしく「わが家」で暮らし続けることができるように支援していきます。また、霧島市の「まちかど介護相談所」として、ライフサポートワーカーを配置し、地域からの介護などについての相談窓口となっています。
事業所名	小規模多機能ホーム おあしす国分	管理者	前川 和弘		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	1人	1人	1人	人	1人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	○引き続き、改善計画への取組み状況を運営推進会議で報告し各委員の方々からの意見や助言を頂くことで当事業所がより良い事業所になれるよう努めていく。	○コロナ感染の影響により資料配布を主として事業所の報告を行った。事業所の取組みに関してはコロナ渦の中での職員の取組みなどは確認して頂けた。	○定期的に配布する資料を元に取り組みに関しては職員が協力し行えていることが分かりました。	○コロナの感染状況をみながら地域との関わりを途切れる事なく続けていく。 ○運営推進委員の皆様にも事業所に来所して頂き事業所内外の様子や職員についてご意見を頂きながら適切な事業運営を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	○事業所を利用するご利用者様や家族、地域の方々が気軽に足を運びやすい環境づくりに努める。また、季節感を感じていただけるような装飾、菜園などの整備などに取り組む。	○本年度はコロナの影響により気軽に足を運びやすい事業所としての事業運営は出来ず感染予防の徹底に努めた。菜園ではさつまいもや大根の収穫を行った。	○コロナウイルス感染予防のため事業所に足を運び事業所の環境について直接的に確認することが出来ませんでした。	○事業所の環境については引き続き季節に合った装飾や菜園を利用した野菜の収穫などに取り組む。また、コロナの影響が終息した際には地域の皆様との交流の場として活用出来るよう事業所の環境整備に取り組む。
C. 事業所と地域のかかわり	○引き続き回覧板の活用や地域活動への参加などを積極的にを行い地域とのつながりを強化できるよう努める。	○コロナの影響による地域活動等の中止が目立った。	○コロナ感染の影響により事業所へ足を運び職員の皆さんに会ったり、事業所が地域の皆様から困りごとに対して相談しやすい場として利用することが出来なかったことは残念です。ね。	○コロナの状況を確認しながら地域の方々に親しまれる事業所になるよう地域活動に積極的に参加するなどしながら関係性を深める。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>○地域の高齢者だけでなく地域での困りごと等情報収集を行うことで支援に支援につなげることができる体制作りに努める。</p>	<p>○コロナの影響により積極的な地域活動は出来なかった。</p>	<p>○地域のイベントが中止され中々外出することが出来ず苦勞されたと思います。 ○資料報告だけでは地域に向き暮らしを支える取組みが見えない部分もありました。</p>	<p>○事業所が高齢者だけでなく地域の皆様との交流の中で日常生活を過ごすうえでの困りごとに手を差し伸べられるよう努めていく。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>○運営推進会議委員の皆様や地域にお住まいの方々との連携を図り地域で「気になる方」について意見交換を引き続き行なう。また、地域で機になる方については情報収集を行いその方への適切な支援に繋げることができるよう活動する。</p>	<p>○本年度は運営推進委員の皆様とも積極的な交流が出来ず、地域で「気になる方」等についても意見交換は出来なかった。</p>	<p>○運勢推進会議自体が本年度は開催出来ず資料配布のみの報告となりました。</p>	<p>○コロナの状況をみながら運営推進委員の皆様にご事業所に来所して頂いたうえで通常の運営推進会議を再開し意見交換を行いながらより良い事業所の運営に繋げる。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>○地域の方々とお互いの住居の防災ができるよう日々の関係作りに努める。また、定期的に行う防災訓練には回覧板などの活用により案内を行うことで防災訓練を地域の方と共に実施することができるよう努めていく。</p>	<p>○7月と1月に防災訓練を実施したが地域住民を交えての防災訓練は自粛した。</p>	<p>○資料報告の中で定期的に消防訓練を実施されていることを確認しました。 ○災害時には日頃の訓練が活かせると思いますので頼りになると思います。</p>	<p>○事業所の防災・災害対策の徹底は基本として、地域の方々とお互いの居住する環境の防災や被害が出来るよう関係作りや地域の防災訓練への参加等を行う。</p>